

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成 29年 2月 17日

計画の名称	神戸市における浸水対策の推進（防災・安全）																								
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）		交付対象	神戸市																					
計画の目標	集中豪雨の多発や都市化の進展に伴う被害リスクの増大に対し、水害に強い都市を作るとともに、安心安全な市民生活の確保を図る。																								
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 市街地、郊外部の土地利用状況等をふまえた河川整備計画に基づき、高橋川を100年確率規模、妙法寺川を50年確率規模（上流部30年確率規模）、伊川・榎谷川を30年確率規模で改修を行い、改修率を44%（H22）から71%（H26）に進捗させる。 災害予防を重視し、予防徹底のため、浸水が想定されている河川のうち、神戸市地域防災計画上で水防対策実施が位置付けされている重要水防箇所の改修を優先的にを行い、当該区間延長を18.1km（H22）から5.9km（H26）に減少させる。 																								
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H22当初)</th> <th>中間目標値 (H24末)</th> <th>最終目標値 (H26末)</th> </tr> <tr> <td>① 河川整備計画に基づく河川改修延長(率) 基幹4河川の要改修延長=30.6km (改修済要改修延長率) (%) = (各目標年度での累計改修延長) / (要改修延長) (30.6km)</td> <td>44%</td> <td>60%</td> <td>71%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>② 重要水防箇所に指定されている区間延長（片側延長） H22当初の基幹4河川 重要水防箇所区間延長=18.1km (重要水防箇所残延長) = (重要水防箇所区間延長) (18.1km) - (各目標年度での累計解消延長)</td> <td>18.1km</td> <td>9.6km</td> <td>5.9km</td> <td></td> </tr> </table>								定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	① 河川整備計画に基づく河川改修延長(率) 基幹4河川の要改修延長=30.6km (改修済要改修延長率) (%) = (各目標年度での累計改修延長) / (要改修延長) (30.6km)	44%	60%	71%		② 重要水防箇所に指定されている区間延長（片側延長） H22当初の基幹4河川 重要水防箇所区間延長=18.1km (重要水防箇所残延長) = (重要水防箇所区間延長) (18.1km) - (各目標年度での累計解消延長)	18.1km	9.6km	5.9km	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																					
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)																						
① 河川整備計画に基づく河川改修延長(率) 基幹4河川の要改修延長=30.6km (改修済要改修延長率) (%) = (各目標年度での累計改修延長) / (要改修延長) (30.6km)	44%	60%	71%																						
② 重要水防箇所に指定されている区間延長（片側延長） H22当初の基幹4河川 重要水防箇所区間延長=18.1km (重要水防箇所残延長) = (重要水防箇所区間延長) (18.1km) - (各目標年度での累計解消延長)	18.1km	9.6km	5.9km																						
全体事業費	合計 (A+B+C)	4,974百万円	A	4,950百万円	B	20百万円	C	4百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.1%															

事後評価	
○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	事後評価（中間評価）の実施時期
事後評価（中間評価）の実施体制 平成28年度 神戸市建設事業外部評価委員会	第1回委員会：平成28年9月5日 第2回委員会：平成28年〇月〇日
	公表の方法 神戸市ホームページに記載

1. 交付対象事業の進捗状況																		
交付対象事業																		
A1 河川事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
											H22	H23	H24	H25	H26			
1-A-1	河川	一般	神戸市	直接	-	都市基盤2	-	高橋川水系高橋川都市基盤河川改修事業	L=454m、シールド、ボックス	神戸市東灘区						867	継続事業 国土交通省 国土開発交付金	
1-A-2	河川	一般	神戸市	直接	-	都市基盤2	-	妙法寺川水系妙法寺川都市基盤河川改修事業	L=2,820m、護岸工・低水護岸工	神戸市須磨区						1,353	継続事業 国土交通省 国土開発交付金	
1-A-3	河川	一般	神戸市	直接	-	都市基盤2	-	明石川水系伊川都市基盤河川改修事業	L=3,040m、低水護岸工	神戸市西区						1,212	継続事業 国土交通省 国土開発交付金	
1-A-4	河川	一般	神戸市	直接	-	都市基盤2	-	明石川水系榎谷川都市基盤河川改修事業	L=1,870m、低水護岸工	神戸市西区						1,518	継続事業 国土交通省 国土開発交付金	
合計																4,950		
B 関連社会資本整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考		
										H22	H23	H24	H25	H26				
1-B-1	公園	一般	神戸市	直接	-	-	中野北公園復旧事業	公園老朽施設更新 1式	神戸市東灘区							20	新規事業	
合計																	20	
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考							
1-B-1	基幹事業4河川（1-A-1）の河川改修に伴いシールド発進基地としていた公園の復旧を行い、安心して暮らせるうるおいのあるまちづくりを創出する。																	
C 効果促進事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考		
										H22	H23	H24	H25	H26				
1-C-1	河川	一般	神戸市	直接	-	-	河川モニタリングカメラシステムの構築	監視カメラの設置及び観測されたデータを収集、処理、公開するシステムの構築	神戸市							4	新規事業	
合計																	4	
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考							
1-C-1	基幹事業4河川（1-A-1～4）の河川改修に伴い、減災の観点から市民に河川の増水の状況をリアルタイムで伝えることで、迅速、適切な避難行動を促し、洪水による被害を低減する。																	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

- ・高橋川水系高橋川については、事業が完了し概ね100年確率規模の大雨にも耐える河川となった。
- ・継続中3河川（妙法寺川・伊川・榎谷川）は、河川整備計画に基づく必要断面の確保を行うとともに、治水安全度の向上を図れた。

II 定量的指標の達成状況

指標① 河川整備
計画に基づく河
川改修延長(率)

最終目標値

71%

最終実績値

55%

目標値と実績値
に差が出た要因

事業費の確保が困難となり、事業執行計画を見直したため。

指標② 重要水防
箇所に指定され
ている区間延長
(片側延長)

最終目標値

5.9km

最終実績値

11.1km

目標値と実績値
に差が出た要因

事業費の確保が困難となり、事業執行計画を見直したため。

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況
(必要に応じて記述)

- ・河川モニタリングカメラの活用により、住民に河川の状況をリアルタイムで伝え、避難行動の目安に寄与し防災意識の向上に繋がっている。
(アクセス傾向 日最大 H22年度1,910人/日⇒H26年度15,892人/日)

3. 特記事項（今後の方針等）

- ・都市基盤河川改修事業として、引き続き妙法寺川・伊川・榎谷川の3河川の改修を鋭意進め、治水安全度の向上に努める。
- ・河川改修事業を主体的に進めることで、兵庫県が策定している「総合治水推進計画」を盛り上げるとともに、官民が連携して進める流域・減災対策を行う際の、住民の防災意識の更なる向上に努める。

(参考様式3)

